

2023年6月29日



子ども・若者たちの「やってみよう！」があふれる静岡

第6回大谷・小鹿地区まちづくり検討会議

小森 史靖

静岡大学 経済学科2年 / NPO法人ESUNE学生ディレクター
あむラボ 代表 / みんなのチャレンジ基地 ICLa副センター長



自己紹介

小森史靖(こもりふみや)

2001年大阪府生まれ。静岡市出身。静岡大学経済学科在籍。NPO法人ESUNE学生ディレクター。

大学1年次に体育会系サッカー一部所属、某大学受験予備校でバイトを経験。

大学2年次に地域の難民支援ボランティアや留学生・ALTの方など向けの日本語教室を立ち上げる。

現在は2年間休学をし、カナダへ留学を目指す。コロナ禍で断念。いろいろあって、子どもと若者の居場所活動を新たに始める。

自分らしくセカイとつながりながら、それぞれの個性が発揮される「変奏社会」を
ビジョンに、子ども・若者の居場所、活躍の選択肢を豊かにする活動を行っています。

子どもの活躍の選択肢を増やす



あむラボ

5教科を教えない小中学生向け
オーダーメイド体験教室

自分らしい表現言語を育む



アトリエあす

完全無償の不登校児童生徒向け
アートスクール

若者の「やってみる」を応援する



みんなのチャレンジ基地ICLa

産学連携の若者(特に大学生)の
コミュニティスペース

その他の活動・今後の挑戦

SSWや市民団体と連携した不登校の子の
アウトリーチ(オンラインチャット)活動

産学共同での学校では出会えない
新しい学び・体験プログラム

中山間地域の子どもたちの
オンライン伴走プログラム

自分らしくセカイとつながりながら、それぞれの個性が発揮される「変奏社会」を
ビジョンに、子ども・若者の居場所、活躍の選択肢を豊かにする活動を行っています。

子どもの活躍の選択肢を増やす



あむラボ

5教科を教えない小中学生向け
オーダーメイド体験教室

自分らしい表現言語を育む



アトリエあす

完全無償の不登校児童生徒向け
アートスクール

若者の「やってみる」を応援する



みんなのチャレンジ基地CCLa

産学連携の若者(特に大学生)の
コミュニティスペース

その他の活動・今後の挑戦

SSWや市民団体と連携した不登校の子の
アウトリーチ(オンラインチャット)活動

産学共同での学校では出会えない
新しい学び・体験プログラム

中山間地域の子どもたちの
オンライン伴走プログラム

多様なアプローチと協力・応援で静岡の未来社会をつくるNPO法人です。

人材コーディネート事業 “志”と“想い”のある人を、組織につなぐ。

首都圏など静岡県外に在住し、働きながらローカルへ関心がある兼業者や、新しいチャレンジの機会を求める大学生を組織につなぎ、事業課題・経営課題に挑戦。事業課題をプロジェクト化し、人とつなぎ、プロジェクト推進を伴走支援しています。

兼業人材コーディネート

静岡県内外在住で、本業があったり、フリーランスで仕事をしている人材を兼業者として参画するプロジェクトコーディネートしています。



学生インターンコーディネート

新しい環境で挑戦したい大学生の中長期（4ヶ月・半年・1年）が取り組むプロジェクトのコーディネートをしています。



教育研修事業 組織の中から“火”を起こす。

複雑で不確実な社会の変化に立ち向かう人材を育むため、経営層・人事の方と共にプログラムの開発・提供を行っています。地域社会の資源・課題と出会い、学ぶプログラムを中心に、大手・中小企業・教育機関と取り組んでいます。

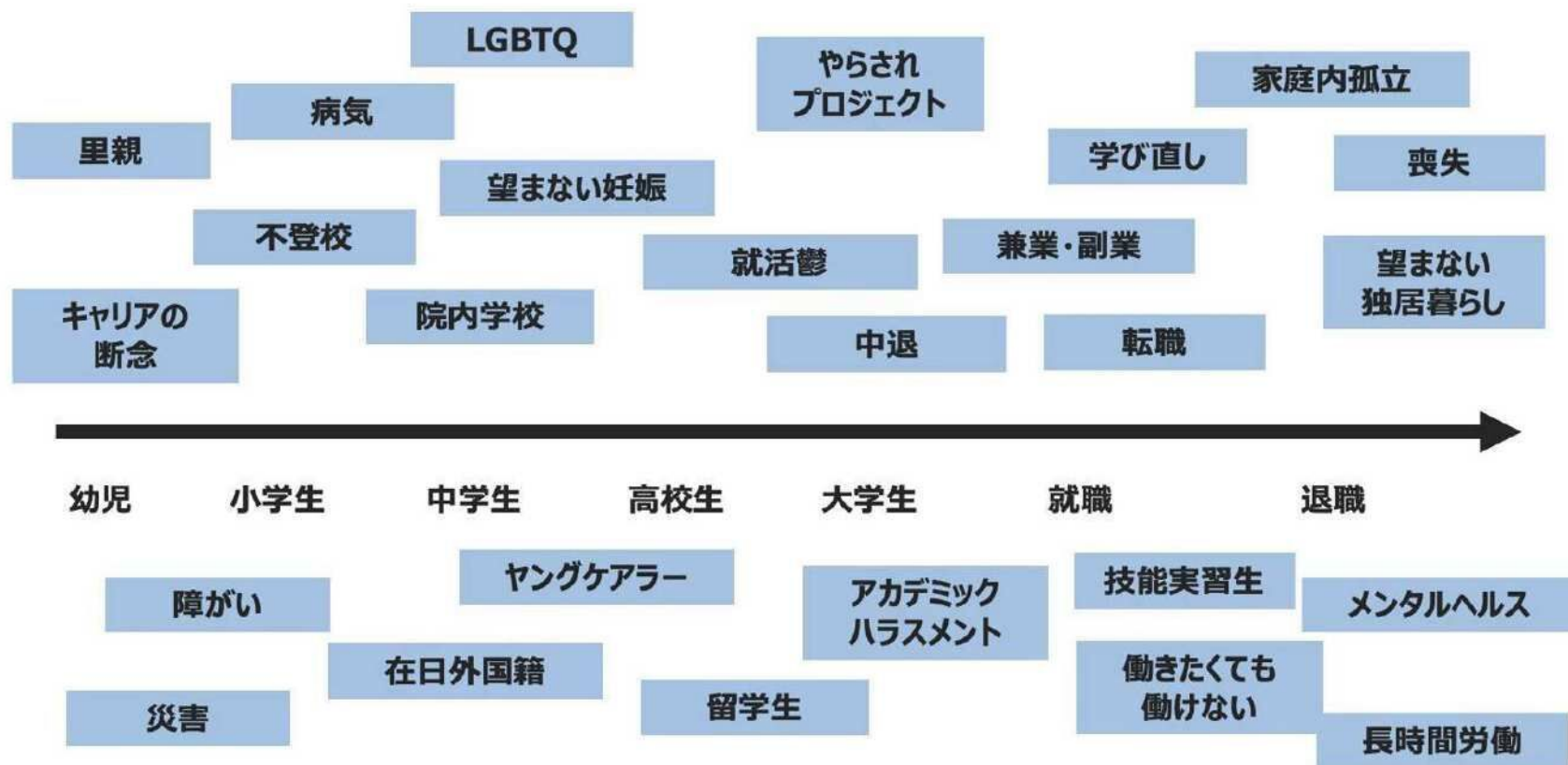


ユースセンター事業 若者の“一歩”を支える。

コロナ禍で思うような一歩を踏み出せない、悩みや希望を抱える若者の一歩を支援する個別相談・伴走支援センターを運営しています。若者発案のプロジェクトを多数サポートし、支援者を増やすための養成講座も運営しています。

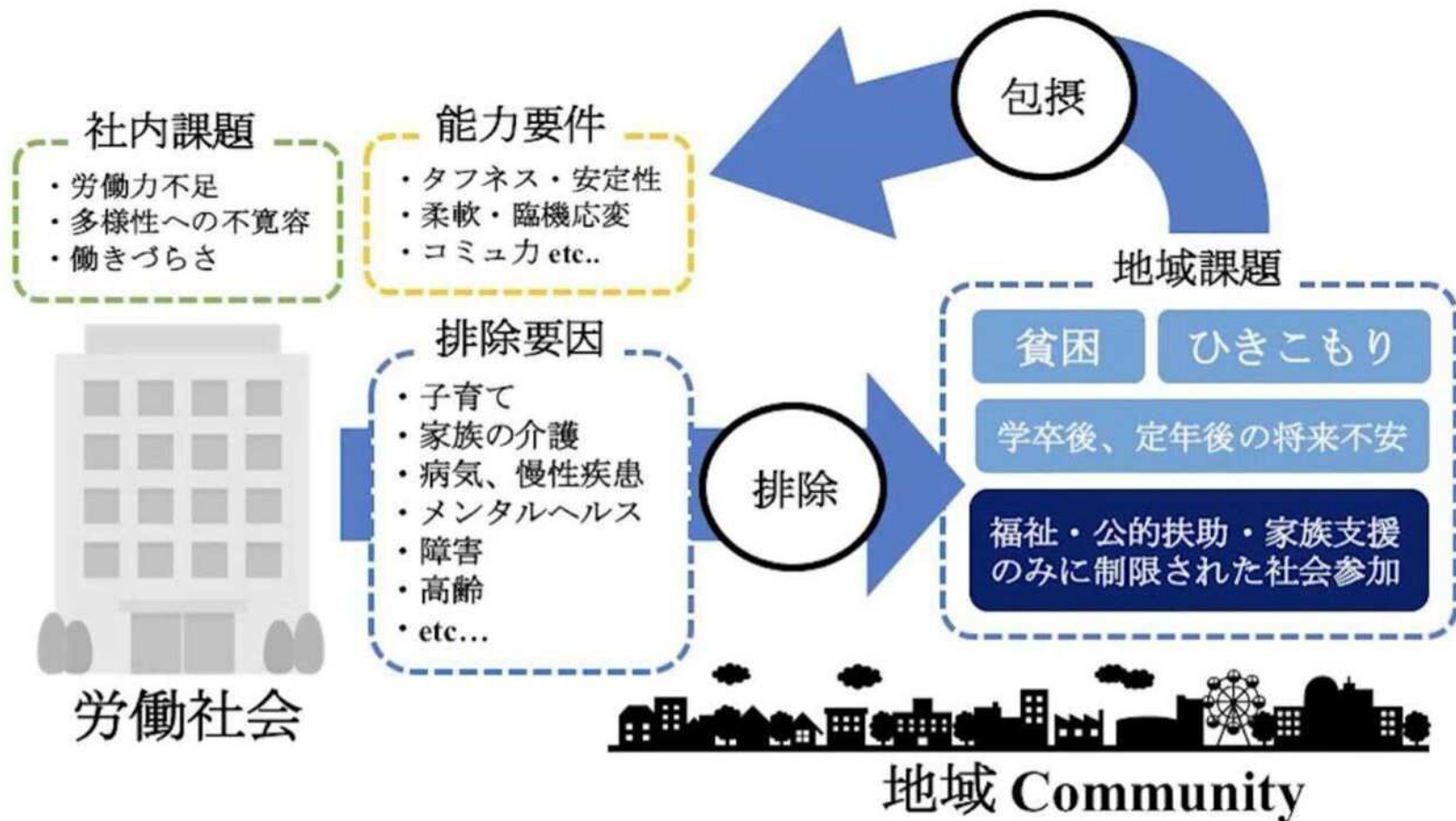


一人一人の「人生」に向き合うNPOとして、全ての人の 新しいまなぶ・はたらく・いきる=方法・選択肢をつくる



社会を「やわらかく」していく

東京大学先端研 近藤武夫先生の講演から



課題解決ではなく、包摂するやわらかな地域社会をつくる

**全ての人を包摂する
やわらかな
地域社会をつくる**

**そのためには、小さくはじめて、
しっかり育てて、
地域システムを変えていく。**

「できそうにないこと」をやる。

「わからないこと」をやる。

「誰もやらないこと」をやる。

そして、「やったこと」を次に繋ぐ。

アクションリサーチ・アプローチ

新しい方法・仕組みをつくるための調査・企画・実践・改善・提案をし続ける。



あむラボ

AMULABO



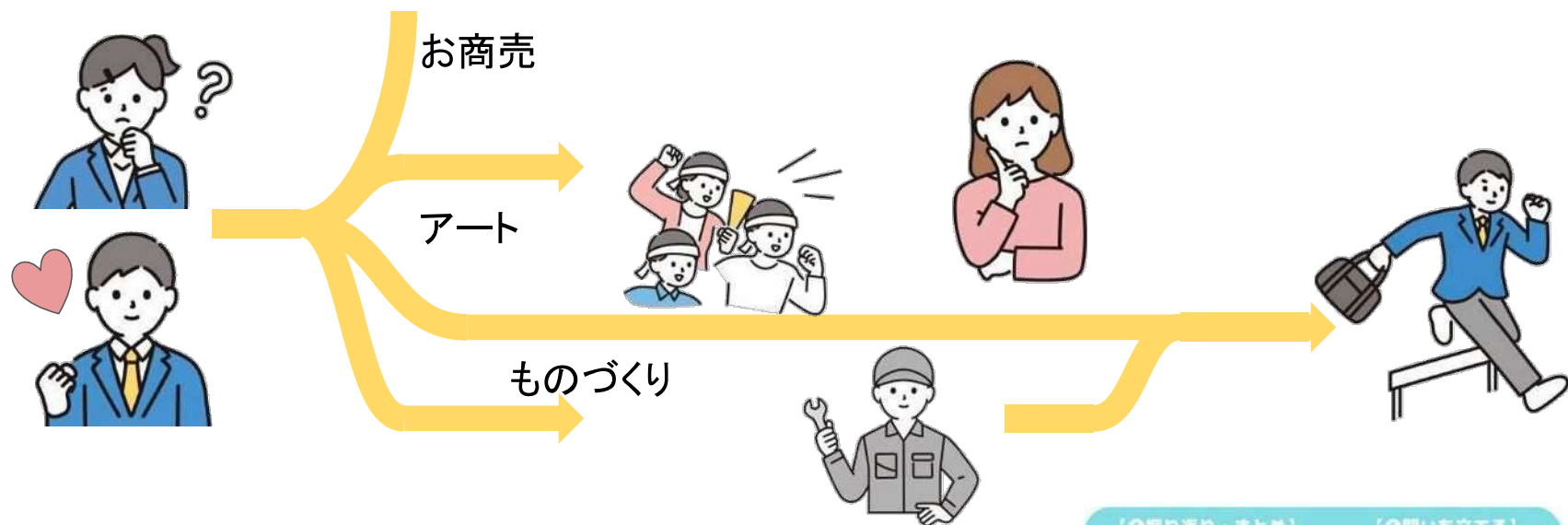
小・中学生の「好き」を社会とつなげる
5教科を教えないオーダーメイド体験教室





“好き”を起点とした個別最適のプロジェクト型学習(P-PBL)

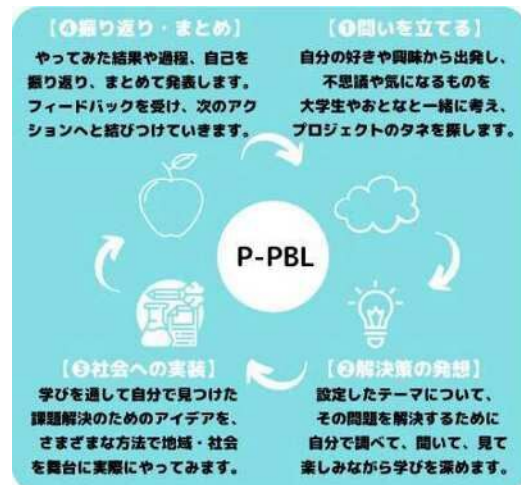
→PBL版の家庭教師



【「P-PBL」とは?】

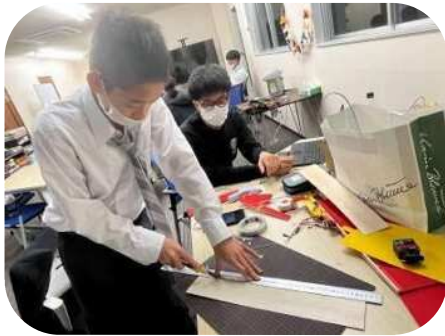
PBL(プロジェクト型学習※1)に、一人ひとりの興味関心に沿って、プロジェクトを自分のペースで進めるという「**パーソナライズド(P)**」の要素を追加した「**ルール無用の自由研究**」のようなもの。

※1 自ら課題を発見し、解決する能力を養うことを目的とした教育手法でアクティブラーニングの一つ。アメリカの教育学者であるジョン・デューイ提唱の学習理論。





2022年10月～



課題だなーと思うこと

教育における 子どもと社会の接続性

5教科を教えないオーダーメイド体験教室

不登校・行き渋り

孤育て

経済的貧困

やっていきたいこと

子どもたちと一緒に
学び(遊び)や活躍の
バリエーションを拡充していく

小・中学生の「好き」を社会とつなげる

生きてるだけで価値を感じられる世の中

≒「差異が彩・才に。」



あむラボ

静岡の駿河区小倉にあるアウトブット・プロジェクト型の学習教室です。「5教科は教えないけど、社会とつながります」子どもたちに、自分の好奇心から社会とつながる体験を。「シャカイをアソビバに、創造しい人が育つ」静岡へ！ #PBL #探究 #探究学習 #大学生 #静岡大学 #教育

55 フォロワー 22 フォロワー

設定



【秋スクール・挑戦者⑩】ゆうまくんの「ルアー釣りに初挑戦」プロジェクト

ルアー釣りをやってみたい！ ゆうまくんは釣りが大好き！ 家族も釣りが大好きということで、小さなころか...

あむラボ 6日前

2

子どもたちのプロジェクトの全プロセスを世の中へ発信！！



【秋スクール・挑戦者⑨】りさちゃんの「憧れの漫画家」プロジェクト

ちゅおのコンテストに自分の漫画で応募したい！ りさちゃんはイラストと動物が大好き！ 格に可愛いタッポ...

あむラボ 6日前

6



【秋スクール・挑戦者⑧】はるくんの「自作ラジコン飛行機」プロジェクト

自分で飛行機を作ってみたい！！ はるくんは飛行機が大好きな中学1年生！ 旧日本海軍の零式陸上戦闘機...

あむラボ 6日前

3



【秋スクール・挑戦者⑦】ゆうなちゃんの「動きのある絵」プロジェクト

「動きのある絵」を描きたい！ 手先が器用なゆうなちゃんは絵かきが大好き！ 仲の良い友達と二人で行...

あむラボ 8日前

2



【秋スクール・挑戦者⑥】おうしょうくんの「トランスフォーマー®の魅力...

トランスフォーマー®をもっと知ってほしい！ おうしょうくんは生粋のロボットマニア！ 保育園の頃から...

あむラボ 8日前

4



【秋スクール・挑戦者⑤】そうくんの「人生ならぬカメラ生ゲーム」プロジ...

華道問題に楽しく興味を持ってほしい！ 自分の身の周りのことになんでも関心をもつ、好奇心旺盛なそうく...

あむラボ 8日前

4



【参加無料!!あむラボ個別体験会(2/16~)】

★お申し込みやこれまでの活動の様子はこちらからご覧いただけます👉 <https://line.me/ti/ee/lni64JN> ~あむラボ。

あむラボ 3週間前

3

LINEオープンチャットで、
オープンエデュケーションな場に！！

あむラボ研究員の集い (69) ◀ ▶

📢 【あむラボプロジェクトをご支援いただいたみなさまへ👉】

2022.12.14



みね

日に日に冷え込んで、冬本番となりましたね。あったか〜いコーンスープが身に染みる季節になってまいりました👩🏻

さて、皆様お待ちかねの
【あむラボチラ見せタイム】です🌟

先日広報がお邪魔した時にプロジェクトを進めていたのはこちらの2ペア！真剣な表情で何らかを作っております。何らかを。

ちょっとネタバレすると今回のプロジェクトで、片方のペアはあの「飛ぶヤツ」を一から自作。
もう片方のペアは某サイトにあげる「見るヤツ」を同じく一から自作しています。

ちなみに「見るヤツ」、ついに完成して某サイトにアップロードしました！🌟

非常にクオリティの高い作品となっておりますので、是非ともご覧ください！
(フィードバックじゃんください😊)

<https://youtu.be/RJNQV8y79C0>

気になるプロジェクトの全容は、18日(日)の秋スクール発表会後に解禁予定！もししばらくお待ちください！

【コマ撮り】コンボイ対メガトロン Optimus prime VS Megatron 【Stop motion】
#トランスフォーマー #Transformers



あむラボ

あむラボ研究員の集い

メンバー 69 ノート 1

👤 【あむラボ】こもりん

5教科を教えない小中学生向けオーダーメイドPBLスクール
「あむラボ」の応援サポーターグループです👉



トーク



ノート

個別LINEでこまめに情報共有、 一緒に子育てしているイメージ！！

もちー
こんばんは🌟

ご報告ありがとうございます🙏
そのプログラミングの進化が早くて、親としてもびっくりです👍
前回のカメ生ゲームからは比べものにならないレベルになっていて、できあがりを楽しみます🥳

先日、担任の先生から学校での様子について電話がありました。

学校では読書をしていることが多いらしいのですが、集中し過ぎて、指示が聞けていなかったり、周りの状況が把握できなかつたりする場面がある、とのことでした。

あむらボでのその集中力は、好きなことに時間を忘れて没頭できる、という特技になります。

ひとつの特長が、人や環境によって、見方が大きく違うのだと改めて実感させられました。

活動が楽しい！と答えたんですね😊
もちーのフォローのおかげだと思います👏
ありがとうございます！

前田さん、こんばんは。メンターのもっちーです🙏
昨日の活動報告をさせていただきます！

〇昨日の活動📖📖📖

昨日もシューティングゲーム制作の続きを進めました。前回から、青鬼がくるくる回転していたり、鬼に豆が当たると爆発したり、大豆だけではなく他の豆でも発射できるようになっていたり、ゲームがとても進化していました！🥳

活動中は、敵となる鬼たちの強さを回転や落ちる速度で工夫していたり、残機、豆パワー、撃退度などゲームをさらに面白くする設定をつけたりしていました！

緑鬼は、弾幕を発射するようプログラミングをしたかったようですが、なかなかそう君の思い描いていたようには出来ず、何度も何度も悩んではやり直してを繰り返していました🥲

昨日は、そう君恒例の肉まんタイムも忘れるほど集中して活動に取り組んでいました！🥳🥳

作りたいイメージはもう出来ているようで、それに向けてお手本を見ては試行錯誤を繰り返すそう君の姿がとても輝いていました🌟

〇次回の活動📖

今回は緑鬼のプログラミングを完成させることと、ラスボスであるハトも登場させようと考えています！

日時：3/2(木) 17:00~18:30

場所：IcIa

持ち物：飲み物、軽食

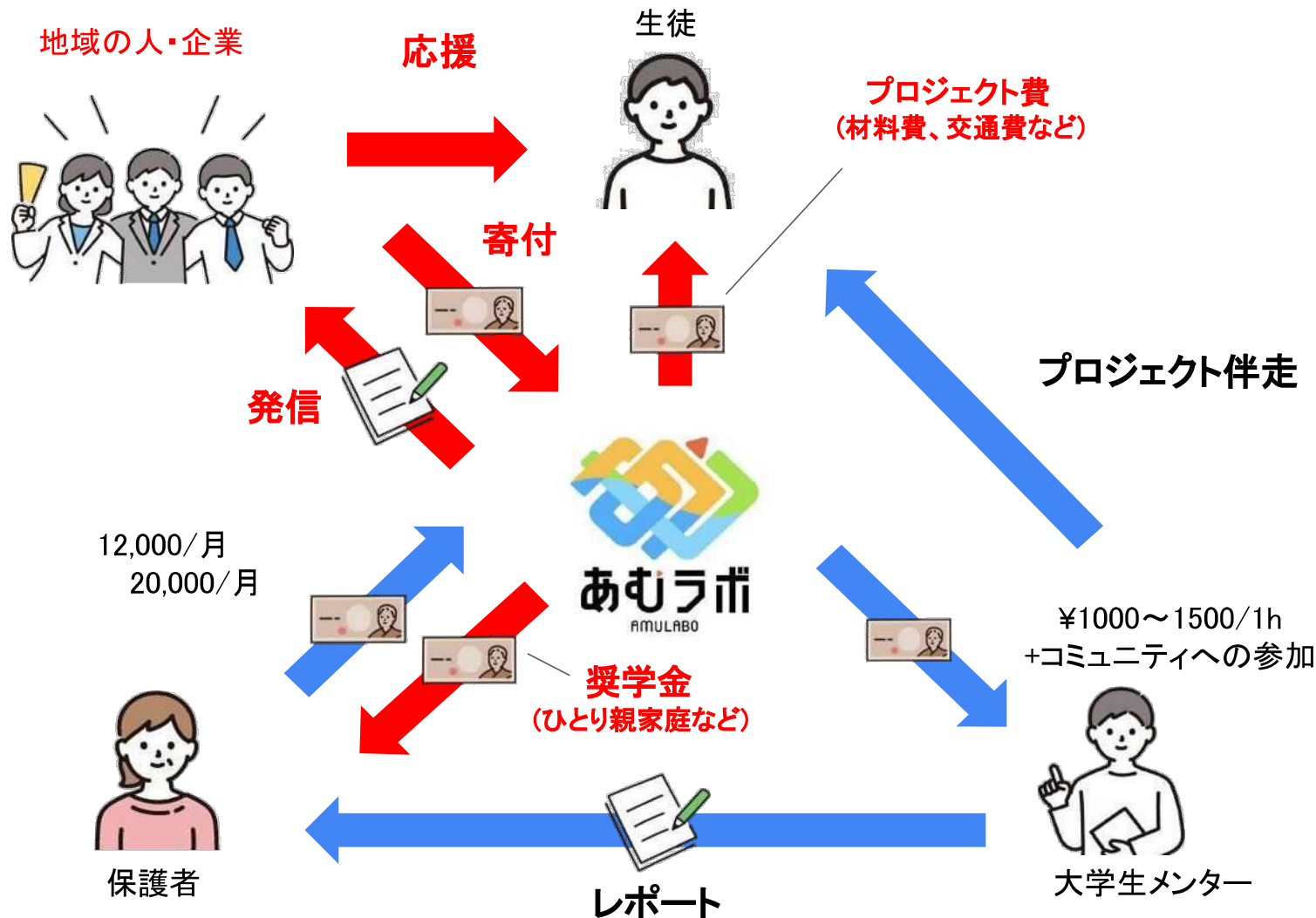
帰り際に「この活動楽しい？」「また家でも進めてくれるの？」と聞くと「うん！」と答えてくれました！

そう君にとってこの活動が楽しいものであるといいなと思っています🥳

来週もよろしくお願いします！🙏



あむラボモデル(月謝制+寄付制+奨学金制)





みんなのチャレンジ基地

ICLa

みんなのチャレンジ基地ICLaとは



若者一人一人の、自分らしいチャレンジを後押しする拠点
若者が希望を持って社会を冒険していく「基地」をコンセプトとした場

■ビジョン

若者たちの「やってみよう！」があふれる静岡

■実施事業

- ①「みんなのチャレンジ基地ICLa」拠点運営
- ②大学生をはじめとした若者の個別相談・支援（プロジェクトから起業まで）
- ③若者のチャレンジを促すプログラムの企画運営
- ④オンラインコミュニティ「ICLaみんなの川」運営

■運営体制

【経営会議】

センター長 天野浩史
副センター長 小森史靖、齊藤雄大
学生リーダー 加藤秀隆、楠田圭佑
プロジェクトマネージャー 宇賀田栄次、杉山孝

【学生スタッフ】

中垣乃彩、渡邊匠、西口航平、中村香音
池田康太、赤羽巨海、仁枝瑞貴
松永理子
（静岡大学、常葉大学の大学生が中心）

若者たちの「やってみよう！」があふれる静岡へ

静岡大学OBOG
ICLa OBOG



地域住民
企業・自治体
NPO



チャレンジの起点となる
プラットフォーム



ICLaサポーター
(有料会員)



若者(主に大学生)



ICLaをきっかけにローカル、グローバルに若者が活躍する社会へ





プロジェクト マルシェ

ICLaから始まった3つのプロジェクトを揃って交流や対話を楽しもう！！
仲間との出会い、あなたらしい一歩がここから生まれるかもしれません

1/12(木)18:00~20:00 @ICLa

主催：みんなのチャレンジ基地ICLa



久保田海央
ICLa副センター長



濱彩音 & 町井蓮花
ICLa副センター長



平野 穂乃佳
ICLa副センター長

「環境・経済」の両立を具体化させよう！

※ラジオ
※地域連携
※共同トーク

申し込みフォーム
はこちら▶




2022年度の実績



●月間来館者数 述べ約180名～230名 (概ね200名)

※学生以外も含む

- 2割～3割が初来館、7割～8割が2回以上の来館
- プロジェクトや企画について相談・議論は多いが、居場所・たまり場的に利用する学生も多い

●創出プロジェクト数 28件

①ICLaでの個別相談や外部イベント等で
スタッフと出会い、「やってみたい」を言語化

③プロジェクト、過程の
見える化と参加の呼びかけ



2022年度の実績



NO	プロジェクト名	立ち上げ日	NO	プロジェクト名	立ち上げ日
1	アニメを愛する者等の宴	2022年10月18日	15	食のワークショップを子供たちとしたい！	2022年12月2日
2	竹問題について語りたい	2022年10月18日	16	静岡を盛り上げるラジオをやりたい！！	2022年12月12日
3	子どもたちに野球を教えたい	2022年10月18日	17	「あっ、と驚く」パワーポイントをつくりたい！	2022年12月12日
4	11月19日なんかイベントやらない？	2022年10月20日	18	共に「つくる」で未来をつくるクラフトインターンを静岡に実装したい！	2022年12月13日
5	みんなで金融の勉強したい	2022年10月20日	19	外国にルーツを持つ子どもたち向けの日本語教室を立ち上げます	2022年12月19日
6	Web3.0研究会	2022年10月21日	20	本の感想共有会（BIA）	2022年12月19日
7	つくろう、未来のマナビバ！	2022年10月21日	21	ICLaにある本をもっと生かせたらなぁ☆☆	2022年12月19日
8	リターナブル食器の事業をしたい！	2022年10月26日	22	自然農について学ぶ会	2022年12月21日
9	みんなで会計の勉強したい！	2022年10月29日	23	Coten Radioで哲学・思想を学びまshow	2022年12月22日
10	不登校の子のためのアートクリエイティブスクールをつくりたい～	2022年10月30日	24	「若者チャレンジ実態調査」を実施したい！	2023年1月8日
11	「アイドル」を研究したい～	2022年10月30日	25	意見募集プラットフォーム「IDEA BOX」やってみたい～市長選を契機に～	2023年1月14日
12	ボランティアをともにしよう	2022年11月18日	26	教育関係に興味ある学生の人材バンクを作りたい！	2023年1月19日
13	子ども食堂プロジェクト	2022年11月26日	27	話題の生成AIで遊ぶ	2023年2月28日
14	教育現場NPO,NGOの連携によるESD推進事業	2022年12月1日	28	ICLa映像部	2023年3月10日

2022年度の実績



●リターナブル食器PJT

静岡県立大学2年生が立ち上げた、使い捨て食器ではなく、何度も使える（リターナブル）食器を地域に実装していくプロジェクト。まずは「自分たちが店を出してリターナブルな食器を使ってみる」ことが重要と考え、2023年5月にマルシュ出店予定。リターナブルタンブラー5万円分を「てみる基金」として助成。

●クラフトインターンPJT

てみる
基金

「やってみたい」を「やってみる」に変えるためのICLaオリジナルの助成基金として試験中。
2023年度は20万円予算化予定。

「クラフトインターン」を事業としている起業家（三島市在住）とICLa学生スタッフが協働で、静岡でのモデルプログラムを実施。加和太建設様、三島市役所様、株式会社bee様、イワサキ経営様に対して、学生たちが「欲しいインターンシップ」を逆提案。現在、実現に向けて各社と学生が継続中。



2022年度の実績



●金融教育授業PJT

「金融の勉強をしてみよう」と集まった学生たちの勉強会に、アイザワ証券様から提案をいただきスタート。清水桜が丘高校の2年生に対して出張授業を実施。

●静岡を盛り上げるラジオPJT

駿河総合高校2年生が「静岡とラジオが好きで、自分でラジオ配信をやってみたい」という思いから始まったプロジェクト。1月7日のイベントにて公開収録を実施。

●子どもたちに野球のおもしろさを伝えるPJT

準公式野球部の有志が「野球はおもしろい！それを子どもたちに伝えたい！」という思いから始まったプロジェクト。自分たちなりのプログラムをつくり、出張授業先の高校野球部も決まり、「移動にかかる交通費を支援してくれる会社」も決まり、あとは実施するだけ・・・というタイミングで、残念ながら白紙に（高校野球連盟としてシーズン中の大学生との交流はNG）。

高校生向けに
金融講座実施
アイザワ証券と静岡大
アイザワ証券は静岡大
学の学生と連携し、清水
桜が丘高校（静岡市）で
金融リテラシー教育授業
を実施した。静大生の発
案で生徒自らがライフプ
ランをつくり費用を試算
するといった取り組みが
行われた。成人年齢が引
き下げられたことから、
高校生の金融意識を高め
ることが狙い。

金融講座は8〜17日、
清水桜が丘高校商業科の
2年生3クラス約110
人に対してそれぞれライ
フプラン編と積立編を開
催した。静大生が授業資
料の作成などに携わり、
前半のライフプラン編で
は講師も務めた。

費用を試算すると約7
割の生徒が、結婚式や家
の購入などで合計1億円
を超えた。「自分の両親
（の人生）をもとにライ
フプランを組んだら金額
の大きさにびっくりし、
申し訳なく思った」など
の感想が上がった。

アイザワ証券の職員が
講師を務めた積立編で
は、想定収入に対する不
足額から必要な積立額を
算出する取り組みや、確
定拠出年金や「つみたて
NISA」など金融商品
の紹介を行った。若年層
を狙った投資詐欺につい
ても注意を呼びかけた。

2023年2月21日 日本経済新聞掲載



2022年度の実績



● イベント・セミナー等の実施

- Tongali 18大学紹介イベント
- プロジェクトマルシェ
ICLaで動いているプロジェクトの相談会
- 地域おこし協力隊と語るトークイベント
「地域おこし協力隊」という生き方を知るイベント
- 企画づくりゼミ
マーケティングや企画についての実践的に学ぶゼミ活動
- サポーターの現場に行くフィールドワーク



プロジェクトマルシェ

ICLaから始まった3つのプロジェクトを囲んで交流や対話を楽しみます！！

仲間との出会い、あなたらしい一歩がここから生まれるかもしれません

期間を盛り上げるラジカをぜひ！！

1/12(木)18:00~20:00 @ICLa

主催：みんなのチャレンジ基地ICLa

ファシリテーター
ICLa副センター長
こもりん

満彩音 & 町井遥花
都立大学学生
食品ロス子どもと一緒に学ぶ

久保田海央
都立大学2年

平野 穂乃佳
都立大学2年

ラジオ
#地域連携
#参加トーク

申し込みフォーム
はこちら▶

QRコード

「環境・経済」のカタチを高度化させよう！

※リユース促進
※SDG
※地域で活動



体験へ踏み出すことを目的にした「てみる基金」



「やってみたいな」と思っても、経済的な理由、社会関係資本の不足、「もし誰かに迷惑をかけたら」という不安から、一歩を踏み出せない高校生・大学生は少なくありません。

てみる 基金

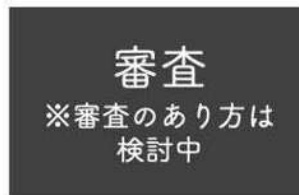
「やってみたい！」という想いを「やってみる!」という一歩へ変えるための応援基金。
2023年度より本格実装するためのパートナーを募集しております。



ICLaスタッフ
との相談・検討



計画書作成
エントリー



審査



活動支援金
支援物資の助成

* パートナーと協議の上、「テーマ型」の応援助成プログラムなども検討しております
(例) 「食と暮らしを豊かにする一歩を応援する助成プログラム」など

数年間で取り組みたい5つのプロジェクト (他にもぜひご提案ください！)

みんなのチャレンジ基地(CLB)
てみる スカラーシップ
プログラム
第0期 スカラー生募集

地域創生、社会課題解決、SDGs、など 大人のモノサシとは無縁な「奨学金」をつくる

- ✓ 小中高大生向けの「奨学金」を静岡で実装する
- ✓ 「好きなこと」や「ちょっと試してみたいこと」をするために大人を「説得する」のではなく、「やってみなよ」という文化をつくるきっかけにする

学校と、学校の仕組みをつくる（学校法人の設立）

- ✓ 中高一貫校の設立に挑戦。3億円の資金調達を実現する

多様な雇用を、まちのあちこちにつくる

- ✓ 静岡をプロジェクト型働き方（Project-based Working）の先進地に。
- ✓ 仕事として生み出せるものは、小さいかもしれないが、多様な種類の仕事にして、雇用を生み出す
- ✓ 超短時間雇用（ショートタイムワーク）を導入・推進を進める

数年間で取り組みたい5つのプロジェクト (他にもぜひご提案ください！)

静大周辺のエリアリノベーション (チャレンジエリア化)

- ✓ 「空き店舗・空き家→アパート」ではなく、起業・社会実験の空間に
- ✓ 学生起業をはじめとした店舗を5件つくる

ESUNEを脱・組織化し、プラットフォームにする

- ✓ 所属する／しない、代表、職員、インターンなど、所属・立場・役職などの既存の組織的な思考をとっぴらって、ESUNE自体が一つのプラットフォームになる
- ✓ 開かれた場で、様々なプロジェクトが生まれて、人が集まり、財源をつくり、形づくる
- ✓ 「やってみいたいことがある」という全ての人が、ESUNEというツールを使って、地域に新しい仕組みをつくれるようになる